

アドミッションポリシー

保健医療学部

- 1 **リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻**
言語聴覚士となる明確な目的意識を有する人
- 1 **リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻**
視能訓練士となる明確な目的意識を有する人
- 1 **医療技術学科 診療放射線技術学専攻**
診療放射線技師となる明確な目的意識を有する人
- 1 **医療技術学科 臨床工学専攻**
臨床工学技士となる明確な目的意識を有する人
- 1 **医療技術学科 歯科衛生学専攻**
歯科衛生士となる明確な目的意識を有する人

保健医療学部共通

- 2 本学に対する明確な志望動機を有する人
- 3 中等教育の学業において、数学や理科系科目などの自然科学と英語の基礎知識を持ち、
国語、社会も広く履修した人
- 4 他者を理解し、思いやりの心を持てる人
- 5 種々の学習課題に自分で計画を立てて取り組める人
- 6 地域での医療や国際的な医療活動に興味を持つ人
- 7 人とかかわることに強い関心を持ち、基本的なコミュニケーション能力を有する人
- 8 1年次の全寮制共同生活・学修に積極的に取り組める人

学費等初年度納付金

リハビリテーション学科

言語聴覚療法学専攻、視覚機能療法学専攻

医療技術学科

診療放射線技術学専攻、臨床工学専攻、歯科衛生学専攻

入学金	30万円
授業料	30万円
合 計	60万円
4年間総額	420万円

※寮費80万円が別途必要となります。

4年間総額納付金は、
競合する大学・学部・学科の私立大学と比べ、
最も低額な設定となっています

競合する大学・学部・学科

言語聴覚療法学専攻

- ・北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻
- ・杏林大学 保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻
- ・東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻

視覚機能療法学専攻

- ・北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻
- ・国際医療福祉大学 保健医療学部 視覚機能療学科
- ・帝京大学 医療技術学部 視能矯正学科

診療放射線技術学専攻

- ・北里大学 医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻
- ・杏林大学 保健学部 診療放射線技術学科
- ・順天堂大学 保健医療学部 診療放射線学科

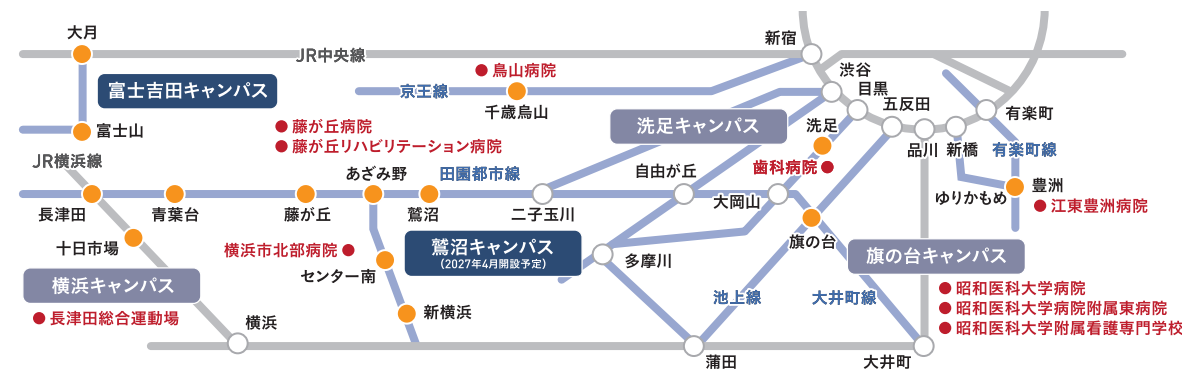
臨床工学専攻

- ・北里大学 医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻
- ・杏林大学 保健学部 臨床工学科
- ・東京工科大学 医療保健学部 臨床工学科

歯科衛生学専攻

- ・埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 口腔保健科学専攻
- ・東京科学大学 歯学部 口腔保健学科 口腔保健衛生学専攻
- ・明海大学 保健医療学部 口腔保健学科

アクセス



富士吉田キャンパス

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田4562
TEL: 0555-22-4403
中央高速バス「富士急ハイランド」下車 タクシー10分
富士急行「富士山」駅下車 タクシー15分

鷺沼キャンパス

〒216-0004 神奈川県川崎市宮前区鷺沼4-4-1
(2027年4月開設予定)

旗の台キャンパス

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8
TEL: 03-3784-8000
旗の台駅(東急大井町線/東急池上線)東口徒歩5分

洗足キャンパス

〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL: 03-3787-1151
洗足駅(東急目黒線)徒歩3分
北千束駅(東急大井町線)徒歩5分

横浜キャンパス

〒226-8555 神奈川県横浜市緑区十日市場町1865
TEL: 045-985-6500
青葉台駅(東急田園都市線)より「若葉台中央行き」バスにて「中山谷(なかざんや)」停留所下車徒歩5分
十日市場駅(JR横濱線)より「若葉台中央行き」バスにて「中山谷(なかざんや)」停留所下車徒歩5分



2027年4月 新しい学科、専攻を加え 4学部6学科7専攻の 医系総合大学へ

医学部

歯学部

薬学部

保健医療学部

看護学科

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

作業療法学専攻

医学部

歯学部

薬学部

保健医療学部

看護学科

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

作業療法学専攻

New

言語聴覚療法学専攻

視覚機能療法学専攻

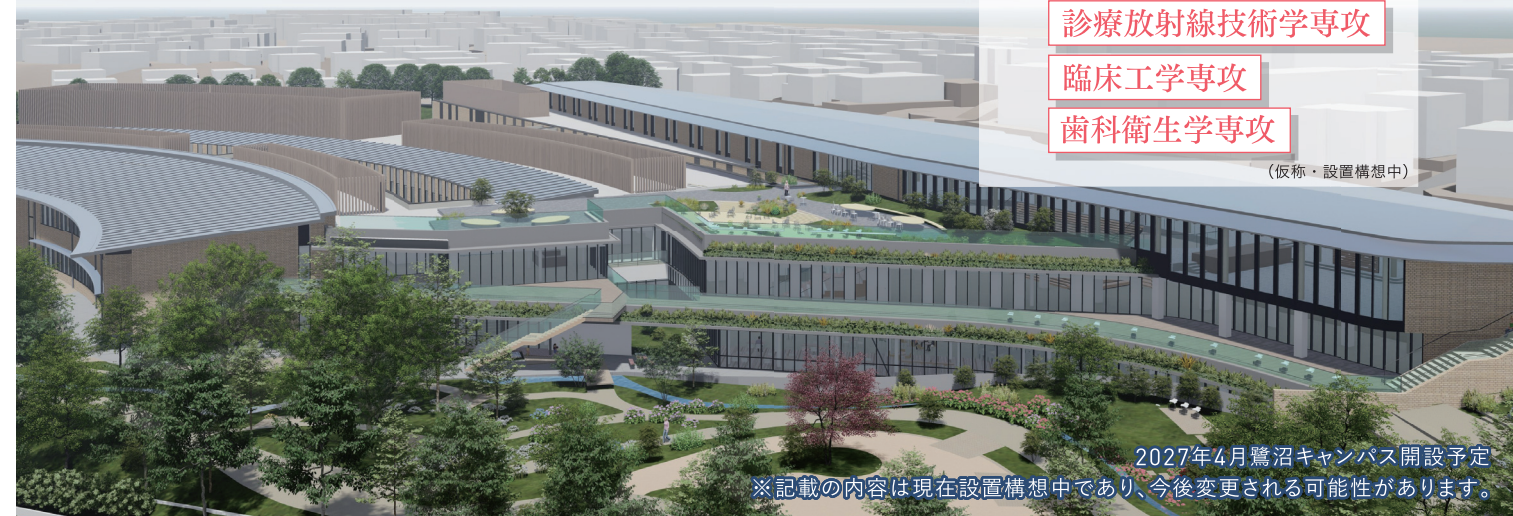
医療技術学科

診療放射線技術学専攻

臨床工学専攻

歯科衛生学専攻

(仮称・設置構想中)



昭和医科大学



昭和医科大学

神奈川県横浜市緑区十日市場町1865 TEL: 045-985-6503

多種多様な医療人を育む “医系総合大学”として、次のステージへ

医系総合大学だから実現できる本格的なチーム医療教育！

POINT
1

富士吉田での
1年次全寮教育制度

POINT
2

4学部連携の
チームでの学び

POINT
3

附属病院での
参加型実習で培う
実践力

1年生は富士吉田キャンパス(山梨県)で全員が同じキャンパスで基礎を学び、
2年生からは2027年4月開設予定の鷺沼キャンパス(神奈川県)で保健医療学部の専門科目を学びます。

保健医療学部 リハビリテーション学科

病気やけが、高齢などによって損なわれた身体や心の機能を回復し、生活の質(QOL)を高めるための訓練や療法、援助法を学びます。
患者さん一人ひとりの「できる」を増やし、社会復帰や自立を支援する専門職をめざします。

言語聴覚療法学専攻

入学定員 15名 取得学位 学士:言語聴覚療法学



**コミュニケーションや食べることを支援。
文系も理系もめざせる医療職「言語聴覚士」へ**

言語聴覚士は、話す・聞く・食べることに障害のある方を支援する専門職。絶対数が不足しており、医療をはじめ多分野でニーズが高まっています。1年次には主に基礎科目を学び、2年次以降は検査法や訓練法などの専門的な知識と技能を修得します。また、学生自身の対人スキルを高める独自のカリキュラムで、コミュニケーション支援の専門職に必要な力を育みます。

どんな科目を学ぶ？

●聴覚補償学 など
言語聴覚士は、聴覚に障害のある方に対して補聴器や人工内耳などの聴覚補償機器の調整も行います。音響学・聴覚心理学・耳鼻咽喉科学・聴覚検査法などの関連する基礎科目で修得した知識を統合し、対象者一人ひとりの聞こえに合わせて機器を調整する演習を、実際の機械を用いて行います。

どんな人になれる？

病院の実習だけでなく、教育や福祉の現場も経験して、「障害をみるのではなく人を見る」という姿勢が身につきます。医療・保健・福祉、教育を含めた幅広い視野で、一人ひとりのライフステージを考慮した支援ができる言語聴覚士をめざせます。

取得できる資格

●言語聴覚士国家試験受験資格
「言語聴覚士」になるためには「言語聴覚士国家試験」に合格しなければなりません。本専攻では必要な知識・技能を修得し、卒業要件を満たすことで「言語聴覚士国家試験受験資格」を取得可能です。

卒業後の進路

言語聴覚士の主な就職先は医療機関ですが、介護、福祉、教育など、活躍の場は多岐にわたります。特に高齢化や発達支援のニーズが高まるなか、それぞれの現場で、言語・聴覚・摂食嚥下機能などの課題をもつ方々に、検査・訓練・支援を行うのが主な役割です。

視覚機能療法学専攻

入学定員 15名 取得学位 学士:視覚機能療法学



**見え方をデータ化し診断・治療につなげる。
眼科医療のスペシャリスト「視能訓練士」へ**

視能訓練士は主に眼科医療において、患者の「見え方」をデータ化し診断や治療に貢献します。検査技術だけでなく、国際的に重視されるICF[※]の視点を取り入れた視覚リハビリテーションが実践できる視能訓練士をめざせます。附属病院と連携した早期からの臨床実習で、体系的に実践力を磨けるのが特徴です。少人数制で、学生一人ひとりの能力を最大限伸ばす環境が整っています。

※国際生活機能分類

どんな科目を学ぶ？

●基礎視能矯正学 ●画像診断学 など
「基礎視能矯正学」では、私達の眼が見ている色や形、動きなどを脳がどのように処理し、映像として描いているのか、視覚情報処理のメカニズムを学びます。「画像診断学」では、光干渉断層計(OCT)をはじめとする眼科領域の画像診断装置の操作法や、画像から病態を読み取るための読影力を養います。

どんな人になれる？

視能訓練士に必要な専門知識と技術を着実に身につけるとともに、進歩する医療に対応できる思考力・応用力を身につけます。また、豊富な臨床経験と研究実績を兼ね備えた教員陣のもとで、固定概念にとられない柔軟な発想力や想像力を養い、高い専門性を持って活躍できる視能訓練士をめざせます。

取得できる資格

●視能訓練士国家試験受験資格
卒業要件の単位を取得することで、視能訓練士国家試験の受験資格を取得できます。視能訓練士国家試験の合格率は90%台で推移しており、在学中に専門知識をしっかりと学んでいれば合格できる可能性が高い資格です。

卒業後の進路

主な就職先は、大学病院、眼科専門病院などの医療機関で、眼科臨床業務に携わります。業務の傍ら研究を行い学会発表や論文執筆で活躍する視能訓練士もいます。大学院への進学、研究機関や養成施設だけでなく眼鏡店、眼科機器メーカー、製薬会社へ就職するなど活躍の場は広がっています。

保健医療学部 医療技術学科

医療現場を支える高度な専門技術を学び、検査・治療・ケアの現場で活躍するプロフェッショナルを育成します。
チーム医療の一員として、患者さんの健康と安全を守る役割を担います。

診療放射線技術学専攻

入学定員 30名 取得学位 学士:診療放射線学



**放射線を使った検査・治療や機器の管理を行う、
チーム医療に欠かせない「診療放射線技師」へ**

本専攻では、日本初の取り組みとして、従来の「検査・治療装置の種類別」の臨床実習から「疾患別」の臨床実習へとカリキュラムをシフト。患者さんに寄り添った医療技術を提供できる、人材の育成をめざします。臨床実習はすべて昭和医科大学の附属病院で行い、臨床教員と臨床実習指導者が、学生一人ひとりにきめ細かな指導を行う教育環境を整えています。

どんな科目を学ぶ？

●画像検査撮影技術学
●核医学検査技術学
●放射線治療技術学 など

撮影を行う目的から検査・治療に用いる放射線量、息を止める必要性、患者さんの状態や疾患に応じた撮影・治療技術などを学びます。

どんな人になれる？

医療現場で活躍する診療放射線技師になるために、ただ技術を学ぶだけでなく、患者さんに寄り添い、安心感を与えられる医療人をめざすことができます。さらに、多職種と連携しチーム医療を実践する一員として、自らの意見を伝え相談できる人材を育成します。

取得できる資格

●診療放射線技師国家試験受験資格

診療放射線技師免許取得後に申請により得られる国家資格

●エックス線作業主任者免許
●ガンマ線透過写真撮影作業主任者免許
●第一種作業環境測定士(放射性物質)

卒業後の進路

総合病院から町のクリニック、健診センターなど、病院の大小を問わず活躍の場があります。ほかには、研究職はもちろん、原子力工業・電力の関連会社などの放射線を扱う企業で、放射線測定業務などを担当して働くことも可能です。

臨床工学専攻

入学定員 30名 取得学位 学士:臨床工学



**技術の進歩とともに需要が高まる専門職。
“いのち”を支えるエンジニア「臨床工学技士」へ**

臨床工学技士は、手術室や集中治療室で、人工心肺装置・人工呼吸器・血液浄化装置などを操作・管理し、患者さんの命を守ります。人体の構造や機能、病気の基礎を学んだ後、医療機器の原理や仕組みを、電気・機械工学の視点から深く学修。さまざまな医療専門職をめざす仲間とともに学び、実際の医療現場を体験しながら、コミュニケーション能力と責任感・倫理観を育みます。

どんな科目を学ぶ？

●生体機能代行装置学演習 など

人工心肺装置・人工呼吸器・血液浄化装置といった生命維持管理装置を、実際に操作・体験しながら学ぶことができます。現場で必要となる機器の知識や技術、どのように患者さんの生命を支えるのかという仕組みを深く学びます。

どんな人になれる？

医師・歯科医師・薬剤師・看護師といった、さまざまな医療専門職をめざす学生と共に学べるのが、昭和医科大学の強み。チーム医療における役割を理解しながら、円滑にコミュニケーションをとって連携し、業務にあたる臨床工学技士をめざせます。

取得できる資格

国家資格

●臨床工学技士

学会認定資格

●第1種・2種ME技術実力検定

臨床工学技士資格取得後に
受験可能となる認定資格

●体外循環認定士
●透析技術認定士
●呼吸療法認定士
●臨床ME専門認定士
●臨床高気圧酸素治療技師
●集中治療専門臨床工学技士など

卒業後の進路

臨床工学技士として、病院などの医療機関、大学・研究機関、医療機器メーカーなどの一般企業、行政に関わる公的機関などで幅広く活躍できます。

歯科衛生学専攻

入学定員 15名 取得学位 学士:歯科衛生学



**口腔から全身の健康を支えるスペシャリストとして、
チーム医療へ参画できる「歯科衛生士」へ**

歯科衛生士は、歯科疾患の予防 および 口腔衛生の向上を図ることを目的として、国民の歯・口腔の健康づくりをサポートする専門職です。口腔の健康を守りながら、すべてのライフサイクルにおいて、全身の健康増進をめざし、QOL(生活の質)の向上に貢献できる人材を育成します。早期から昭和医科大学の附属病院での実習を行い、少人数制ならではのきめ細かな教育環境を整えています。

どんな科目を学ぶ？

●からだの病気と歯科衛生
●病院歯科臨床実習 など

患者さんの背景や状況を理解したうえで、口腔を健康に保つための指導計画を立案し、患者さんに寄り添った医療を提供できる能力を養います。実習は、見学中心ではなく診療参加型となっており、実際の現場で役立つスキルを身につけられます。

どんな人になれる？

医系総合大学という環境で学べるため、口腔の健康管理を「全身の健康管理の一環」として捉える多角的な視野が育まれます。口腔健康管理のスペシャリストとして、患者さんに寄り添い、多職種と連携できる歯科衛生士をめざせます。

取得できる資格

●歯科衛生士国家試験受験資格

歯科衛生士免許取得後は、さまざまな専門分野の認定資格を取ることが可能です。特定分野の知識・技術を深めることで、スキルアップや専門性を向上することができます。

卒業後の進路

歯科クリニックをはじめ、大学病院、総合病院、保健所、障害者施設、介護老人保健施設、医療関連企業など幅広い場所で活躍できます。大学院に進学し、大学院卒業後は教員をめざすことも可能です。

※記載の内容は現在設置構想中であり、今後変更される可能性があります。